

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成16年10月21日(2004.10.21)

【公開番号】特開2000-26145(P2000-26145A)

【公開日】平成12年1月25日(2000.1.25)

【出願番号】特願平10-191786

【国際特許分類第7版】

C 0 4 B 24/26

B 0 1 F 17/52

C 0 4 B 28/02

C 0 8 F 290/06

// C 0 4 B 103:40

【F I】

C 0 4 B 24/26 F

C 0 4 B 24/26 B

C 0 4 B 24/26 E

B 0 1 F 17/52

C 0 4 B 28/02

C 0 8 F 290/06

C 0 4 B 103:40

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月14日(2003.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

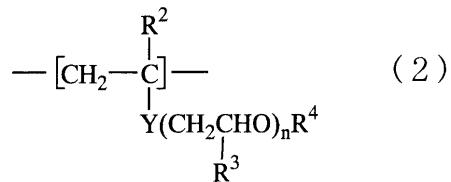
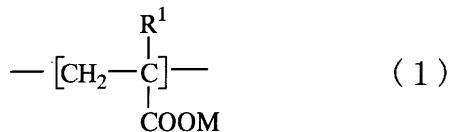
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分子内に少なくとも、下記式(1)及び(2)

【化1】



(式中、R¹、R²及びR³は同一又は異なって水素原子又はメチル基を示し、R⁴は炭素数1~3のアルキル基を示し、Mは水素原子、アルカリ金属、アルカリ土類金属、アンモニウム又は有機アミンを示し、Yは-C₂H₅O-又は-COO-を示し、nは30~109の数を示す)

で表される構成単位を有する(メタ)アクリレート系セメント分散剤並びに水を含有する混合物を、乾燥粉末化することを特徴とする粉末状セメント分散剤の製造方法。

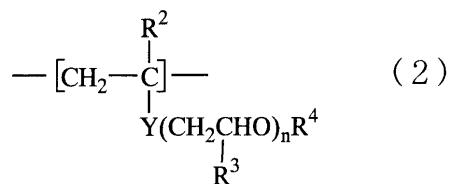
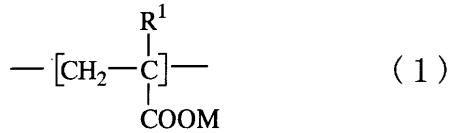
【請求項 2】

(メタ) アクリレート系セメント分散剤が、式(1)及び(2)の構成単位を式(1) = 40 ~ 80モル%、式(2) = 1 ~ 45モル%の範囲で有するものである請求項1記載の製造法。

【請求項 3】

分子内に少なくとも、下記式(1)及び(2)

【化2】



(式中、R¹、R²及びR³は同一又は異なって水素原子又はメチル基を示し、R⁴は炭素数1 ~ 3のアルキル基を示し、Mは水素原子、アルカリ金属、アルカリ土類金属、アンモニウム又は有機アミンを示し、Yは-CH₂O-又は-COO-を示し、nは20 ~ 109の数を示す)

で表される構成単位を有する(メタ)アクリレート系セメント分散剤並びに水を含有する混合物を、混練攪拌しながら乾燥粉末化することを特徴とする粉末状セメント分散剤の製造方法。

【請求項 4】

(メタ)アクリレート系セメント分散剤が、式(1)及び(2)の構成単位を、式(1) = 40 ~ 80モル%、式(2) = 1 ~ 45モル%の範囲で有するものである請求項3記載の製造方法。

【請求項 5】

混合物に、更に、無機粉体を添加する請求項1 ~ 4のいずれか1項記載の粉末状セメント分散剤の製造方法。

【請求項 6】

混合物の硬度が予め30°以上になるまで濃縮した後、0.5kw/m³/rpm以上の馬力で混練攪拌しながら乾燥粉末化することを特徴とする請求項4又は5記載の粉末状セメント分散剤の製造方法。

【請求項 7】

請求項1 ~ 6の何れか1項記載の製造方法により得られた粉末状セメント分散剤。

【請求項 8】

平均粒子径が5 ~ 2000μmである請求項7記載の粉末状セメント分散剤。

【請求項 9】

請求項7又は8記載の粉末状セメント分散剤及びセメントとを含有するセメント組成物。